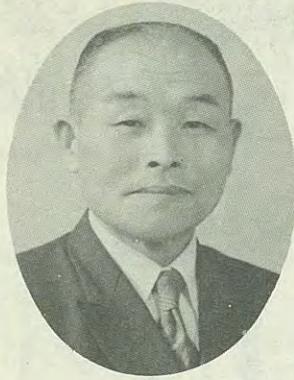


町民

広報 No. 324 1979. 1. 1

まくべつ

発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 電話(01659)4-2111  
編集・町民課広報広聴係 内線111 印刷・ソニー印刷



# 決意も新たに 皆さんと一緒に

幕別町議会議長 山田 栄 幕別町長 大石 忠夫

町民の皆さん、新しい年を迎えられてお目出度うございます。昨年は春以来天候に恵まれ、農作業も収穫作業も順調にすすめられました。本町の基幹産業が農業であるだけに、たいへんに喜ばしいことでした。だが、悲しいこともありました。

町民みんなの願いであった交通事故ゼロが、もう少しで一年になろうとしたとき、三人の方々が犠牲になったこと、火災で尊い命を失ったことなどは、ほんとうに悲しい出来ごとでした。新しい昭和五十四年は、このような悲しいことが起らないよう、みんなまで注意していきたいと思えます。

また、昨年は経済の面でも大変な年でした。今年も急に景気が良くなるとは考えられず、更に厳しくなるのではないかと予想されています。しかし、町政の後退はいたしません、皆さんと一緒に幕別町発展のため努力いたします。そのためには健康が第一です。平和で明るい家庭、それが町の発展にもつながり、五十四年も「いい年であった」といえる年にしたいものです。最後に皆さんのご健勝を祈り、新年のご挨拶いたします。

光陰矢の如し、私たちの任期も僅かとなりましたが、皆さんの限りないご協力により、町政の伸展に参画出来ました事を、深くお礼申しあげます。顧みますと昨年は農畜産物の低落、中小企業は世界的な経済不安定のなかにあつて、町民の皆様のためまざる努力によつて、明るく住みよい町づくりに進展をみた事は、誠に喜ばしく深く敬意を表するものであります。

国際経済環境の変化、国家財政の硬直、高度成長を背景とした自治体財政の体質は、本年度も窮屈なものと思慮されます事を深く認識したなかで、より充実した生活が出来るようにする事が最も大切な課題であろうと考えます。住みよく、あたたかい、豊かな明日への町づくりのためには、山積する諸問題をかかえ、私共に課せられた責務は、誠に重大であり、本年も決意新たに皆様の負託に応えるため、全力を傾注する所存であります。

新しい年の門出にあたり、幕別町議会にたいし、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申しあげ、皆々様のご健勝とご多幸を心から祈念いたして新年のご挨拶いたします。

あけまして  
おめでとう  
ございます

## ■幕別町議会

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 山田 栄  |
| 副議長  | 中寺常次郎 |
| 議員   | 麓 治雄  |
|      | 八十島宗正 |
|      | 逢坂 又市 |
|      | 國枝 光明 |
|      | 千葉 清児 |
|      | 廻渕 茂  |
|      | 須田 尠  |
|      | 長崎 幸一 |
|      | 岸上 利雄 |
|      | 森脇 仁  |
|      | 吉村 康一 |
|      | 伏屋 隆徳 |
|      | 折笠 要  |
|      | 黒島 通  |
|      | 西田 利夫 |
|      | 吉田 猛  |
|      | 小田 善一 |
|      | 前川 正  |
|      | 細川 吉松 |
|      | 加藤 秀雄 |
|      | 山崎 長一 |
|      | 高橋 勇  |
|      | 稲毛 空征 |
| 事務局長 | 二川 豊  |

# 完成

## 幕別小学校

昭和五十三年四月、幕別、新川西猿別、大豊の各小学校を二校に統合した幕別小学校の開校式が二



階廊下で開催されましたが、建設をすすめていた屋内体育館が完成をみたため、幕別小学校の総ての建築が終了、十二月九日に新築なつた屋内体育館で落成式を開催しました。(写真上)

幕別統合小学校は、昭和五十四年春に開校の予定で昭和五十一年八月十日に起工式をおこないました。その後、五十三年春に開校し五十三年度中に屋内体育館を建設と予定を変更、良い子たちは一年早く新校舎に移転、屋内体育館の一日も早い完成が待たれていました。

この学校の特色は、静かな普通教室と、比較的さわがしい工作室や音楽室が完全にわけられ、それぞれの授業に支障がおこらないように配置したほか、低学年の児童が安心して遊ぶことの出来るスペース(小さな運動場)が設けられている十勝管内でも最新の小学校。なお、小学校の規模は、普通教室十八、特別教室七、特殊学級教室一の鉄筋コンクリート造り二階建、延四千四百六十六平方メートルの校舎と九百八十一平方メートルの体育館からなり、工事総額は六億五千四百四十七万円でした。

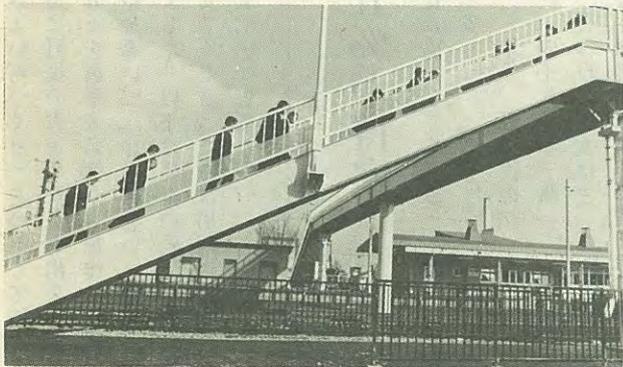
## 人道こ線橋

札内市街とあかしや団地など鉄南地区を結ぶ、札内駅人道こ線橋が完成、十二月一日に竣功式をおこないました。

札内地区に、あかしや団地が造成されたのは昭和四十年十月。以来、人口は急激に増加をみせました。市街地区と団地の間は国鉄根室本線によって分断され、しかも約一・五キロの間は踏切もなく、一種の「陸の孤島」。「こ線橋が出来なければ線路を渡らせてほしい」という笑えぬ要望もありました。

完成した人道こ線橋は札内駅の西側にあり、総延長は五十八・九〇メートル、巾員一・五メートル、高さは五・三メートルで、自転車を押して渡れることも出来、雪を融かすロードヒーティングも布設されています。

竣工式では大石町長と帯広運輸長がテープカットをおこない、札内神社の宮司が先導して、喜びの



完成した人道こ線橋

「渡り初め」をおこないました。

## 幕別幼稚園

五十三年六月二十二日に起工式をおこない工事をすすめています。た町宮幕別幼稚園が十一月二十日に完成、十二月二日に工事関係者のほか園児も参加して落成を祝いました。

幕別幼稚園は、旧幕別小学校の敷地内に、約七千万円をかけて総面積五百二十四・〇四平方メートルの園舎を建設、内部の整備も終つたため十二月一日に引越しをおこない二日に落成式を開催したもので、園児の代表が大石町長に「立派な幼稚園ありがとうございます」と感謝の言葉をのべました。



▲あたたかく明るい幕別幼稚園

## 校章・校歌決定

### 札内南小学校

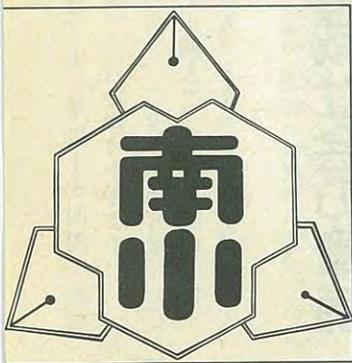
札内南小学校の校章・校歌を制定しようと、細川吉松さんを委員長に制定委員会を設け、校下の皆さんを対象に募集していましたが十二月九日に開かれた委員会会で決定しました。校章は川前正男さん、校歌は高島秀信さんの作。

### 札内南小学校校歌

一、若葉の息吹き 四方に満ち  
薫る梢に みなぎる力  
強くきびしく きたえ合い  
ともに伸びよう この庭に

完成した幼稚園は保育室四、遊戯室一のほか職員室、用具室、ポイラー室からなり、仮の園舎とは違い、あかるく、あたたかい園舎で、良い子たちは伸びのびと勉強にお遊戯に楽しい毎日をすごしています。

二、たゆまぬ流れ 野を駆けて  
豊かな大地に 育くむ心  
広く正しく 励み合い  
ともに学ぼう この窓に  
三、希望のひかり 身にあびて  
果てなき空に つながる未来  
清く明るく 睦み合い  
ともに進もう この道に



# まくべつに

# 住み続けたい

76.4%

## 住民意識調査から

表1 年齢

	男		女	
20～29歳	35人	8.5%	77人	17.5%
30～39	95	22.9	111	25.2
40～49	126	30.4	105	23.9
50～59	92	22.2	108	24.5
60歳以上	66	16.0	39	8.9

表2 職業

	男		女	
農林自営	92人	22.1%	72人	16.4%
商業自営	20	4.8	16	3.6
その他自営	23	5.5	9	2.0
給与生活者	232	55.8	72	16.4
主婦			219	49.8
学生	2	0.5	1	0.2
無職	28	6.7	34	7.7
その他	19	4.6	17	3.9

### 七六・五%が持家

■年齢と職業 調査に協力して下さった方の年齢と職業は「表1」、「表2」の通りで、男は四十代、三十代、五十代の順、女は三十代、五十代、四十代の順。職業では男が給与生活者、農林自営、女は主婦、農林自営および給与生活者の順となっています。

■勤務(通学)場所と住宅 勤務(通学)場所は自宅と町内が、それぞれ同数の二百二十人(三八%)、次いで帯広市の百

町では「より住みよい町づくり」をめざして新しい総合計画の策定を進めています。この計画に町民の方々の意見を出来るかぎり反映させるため、町内に住む千五百人の方々を選挙人名簿から無作為で選び、「非常によい」、「ややよい」、「普通」、「やや悪い」、「非常に悪い」の五段階で答えていただく住民意識調査をおこないました。以下は集計の結果をお知らせします。

なお、回答を寄せてくださった方は男四百十六人、女四百四十人の計八百五十六人、回答率は五七・一%でした。

人(一七・三%)、その他は三十九人(六・七%)ですが、帯広市とその他の方の通勤(通学)の方法は、全体の七一・八%が自家用車、以下、バス(一三・七%)、汽車(九・二%)、その他(五・三%)となっています。

住宅の場合をみてみますと、持家の方が最も多く七六・五%(六百五十四人)、次いで公営住宅八%(六十八人)、借家六・八%(五十八人)、社宅・寮四・三%(三十七人)の順。

回答を寄せてくれた方が幕別に住んでいる

る年数は、十一年以上が四四・四%(三百八十八人)、六年から十年まで二三・五%(二百一人)、二年から五年まで二〇・四%(百七十四人)、二年未満の方は一一・七%(百人)となっています。

### 地域社会の環境

### 近所とのつきあいは当然

### は当然

■地域の生活環境 安全性、快適さ、便利さの三項目について答えていただきましたが、ここでは快適さ、便利さのみを取りあげてみました。

快適さは、「表3」のように「非常に悪い」から「非常によい」までの五段階で答えていただきました。グラフのように「下水のはげぐわい」が非常に悪いのトップ、非常によいのトップは「緑のゆたかさ」となっています。

便利さでは、何れの項目とも「普通」がトップとなっていますが、医療機関、スポーツ施設、保育所への通所などでは「非常に悪い」、「やや悪い」が目立っています。

■現在地について 安全性、快適さ、便利さに関連して、現在地に住み続けたいかどうかの質問には、七六・四%(六百四十六人)の方が住み続けたいと答えています。九十四人(一一・一%)の方は他へ移りたいと希望しています。

住み続けたい方の理由では、持家だからと管えた方は三百四十四人、環境が良いか

表3 快適さ

	非常に悪い	2、やや悪い	3、普通	4、ややよい	5、非常によい
臭	2				5
音		2	3	4	5
み			3	4	5
尿	2			4	5
緑		2	3	4	5
日あたり	2	3	4	5	
道路整備		2	3	4	5
除雪			2	3	4
水道	2			3	4
下水		2	3	4	5

■問題の解決方法

生活のまわりに起

役場にたいする不満

町民と町政のつながり

らという理由の方は百五十九人でした。  
一方、他へ移りたい九十四人の理由は、  
自分の家がない三五・五%、すべての面

つた重要な問題を解決する方法は「表4」  
のように役場へ直接連絡する方が最も多く  
また、町内会（公区）へ持ちこみ解決する

不便二四・七%のほか、環境が良くないか  
らという方も一一・八%ありました。

■隣近所とのつきあい 「留守の時、  
お互いに頼みあう」、「いつもゆきまきする  
程のつきあい」の合計が六〇・六%、「あ  
いさつをかわす程度」が三八・六%となっ  
ています。

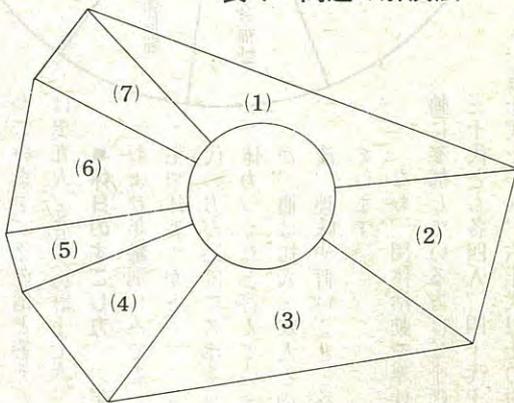
だが、近所つきあいについての考え方で  
は、十六人の方が、わずらわしいので近  
所つきあいはしたくない、と答えている  
ほかは「つきあいは当然」と答えてい  
ます。

■町内会（公区）

町内会（公区）の活動状況では、百四十二人  
（二六・八%）の方が活発に活動し  
ていると答えています。五百九十三  
人（七〇・一%）の方は「まあま  
あ」という返事。活動していない  
と答えた方は百人（一一・八  
%）、町内会に加入していな  
い方は十人（一・三%）あり  
ました。

なお、住んでいる地域（公  
区）の生活環境をよくするために、どのよ  
うなことが必要かの答えと「町が特に力を  
入れてほしい事業」にたいする答えとがや  
や同様の結果となっています。最も多かつ  
たものは道路の舗装や側溝の整備でした。

表4 問題の解決法



- (1) 役場へ直接連絡する (35.9%)
- (2) 町議会議員に働きかけてもらう (11.3%)
- (3) 町内会で (25.8%)
- (4) 地元の有力者に頼んで (9.3%)
- (5) 町政懇談会で (3.9%)
- (6) 具体的に何もしない (9.6%)
- (7) その他 (5.0%)

占めています。今まで  
の方法で良いと答えた  
方は九十三人（一一・  
三%）、広報広聴活動  
の強化と答えた方は九  
十人（一〇・九%）と  
なっています。

町全体の評価は普通

■町全体の評価 「表5」の質問に「非  
常に悪い」から「非常によい」の五段階で  
答えていただきました。総体的には「普通」  
と答えた方がトップとなっていますが、「非  
常に悪い」と答えたものの順位と人数は次  
の通りです。

- ①夜間・休日の救急医療体制（男七十八人、女七十人）
- ②公共スポーツ施設の数
- ・位置（男六十二人、女四十人）
- ③公園
- ・広場の数、広さ、位置（男三十八人、女三十八人）
- ④働く場所（男二十四人、女三十二人）
- ⑤スポーツ、文化活動の場合（男十九人、女二十七人）
- ⑥公民館、集

表5 町全体の評価質問表

緑や空気など自然条件
子供を育て教育する場
働く場所
老後の生活をおくる場所
スポーツ、文化活動の場合
消費生活の場
安全で便利な暮しの場
公園・広場の数、広さ、位置
夜間、休日の救急医療体制
公共スポーツ施設の数、位置
公民館、集会場の位置と数

会場の位置と数（男十三人、女十七人）。  
 老後の生活をおくる場所（男十三人、女十七人）  
 ⑦消費生活の場（男十一人、女九人）

「やや悪い」の場合も、上位は非常に悪いの順と同様。「普通」と答えた方のトップは消費生活の場、安全で便利な暮らしの場。 「非常によい」、「ややよい」のトップは男女とも緑や空気など自然条件となつていきます。

■町づくりの進め方 二百八十二人の方が「住民多数の賛成があれば実施すべきである」と答えていますが、二百四十五人

# 幕別の将来は「福祉町」に

## ■幕別町のあるべき姿

幕別の将来の目標についての質問です。この質問にたいし約半数の三百七十五人（四五・四％）の方が、福祉の向上を第一番目にあげています。以下は所得の向上（二百人、二四・二％）、自然環境の向上（百二十七人、一五・四％）、過密過疎の解消（六十一人、七・四％）、貧富の差をなくす（五十四人、六・五％）の順。

■企業誘致 この質問には六百九人の方が「公害防止対策がなされていれば誘致するべきだ」と答えています。これを職業別にみますと給与生活者の八〇・九％、商業自営の七五％、主婦の七三・二％が同様に答えています。

また、地域開発のためには企業誘致を、という意見も多く、どんな企業でも自然が破壊されるので反対と答えた方は四十七人（五・六％）ありました

の方は「その問題によっていちがいにいいない」と答えています。

また、百六十人の方は「町の長期計画であれば実施すべきだ」、百二十一の方は「住民の納得が得られるまで待つべきだ」と答えています。

なお、町の総合計画書を読んだことのある方は百四人、総合計画書の内容を聞いたことのある方は百四人となっていますが、三百五十八人（四二・八％）は総合計画書があることは知っている、二百七十七人（三二・四％）は、まったく知らないと答えています。

## 休日には自宅で休養

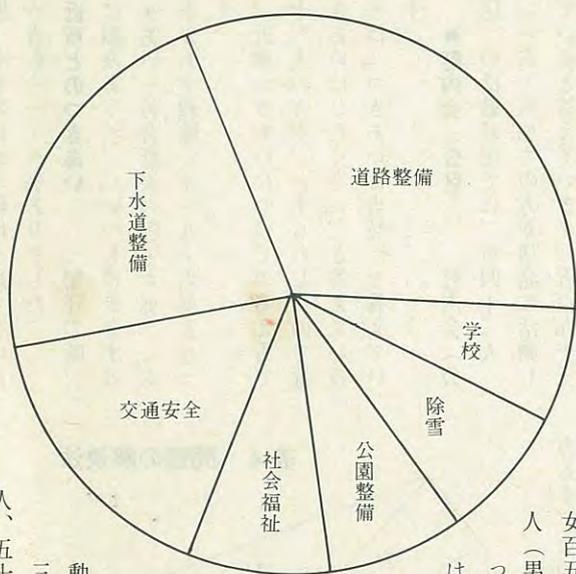
### ■仕事（職業）の満足度

「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合計は四百八十六人（男三百二十九人、女百五十七人）、不満な方は七十一人（男四十二人、女二十九人）となっています。その他と答えた方は男九人、女八人の計十七人。

■休日の過ごし方 男女および年齢別にみても「自宅で休養」がトップ。三十代の方が二位にスポーツや体力づくりと答えています。他は知人・友人との交流、趣味や習いごとと答えています。

なお、団体活動や奉仕活動に参加している方は二十代、三十代とも各四人、四十代十四人、五十代十一人、六十代以上の方は

表6 特に力を入れてほしい事業



り町づくりを、と答えています。その時の状況に応じた町づくりを、という意見の方も二百三十五人（二八・五％）に達しています。

### ■特に力を入れてほしい事業

# 住みよい豊かなくらし

で答えていただきました。要望の強い上位七位までは「表6」のようになっていきます。この表でおわかりのように道路の整備、下水道の整備、交通安全施設の新設・整備の要望が最も多く、この表で取りあげていませんが「スポーツ、レクリエーション施設の整備」、「上水道の整備」、「公害対策」にも力を入れてほしい事業となっています

七人となっています。

この質問に関連して「余暇を有効に過ごす際に欠けるもの」は、ほとんどの男女とも経済的にゆとりがない、と答えています。二十代と六十代以上は、時間的なゆとりがない、と答えています。

■公共施設の利用 この一年間に利用した公共施設についての質問で、利用のトップは幕別温泉でした。

幕別温泉四百八十一人（五六・二％）、近隣センター三百七十七人（三七・七％）、町民会館二百九十一人（三四・四％）、札内福祉センター二百三十三人（二七・二％）、町営温泉プール百四十六人（一七・一％）、運動公園百十六人（一三・六％）、札内川河川グラウンド五十八人（六・八％）、青少年会館四十三人（五・五％）。

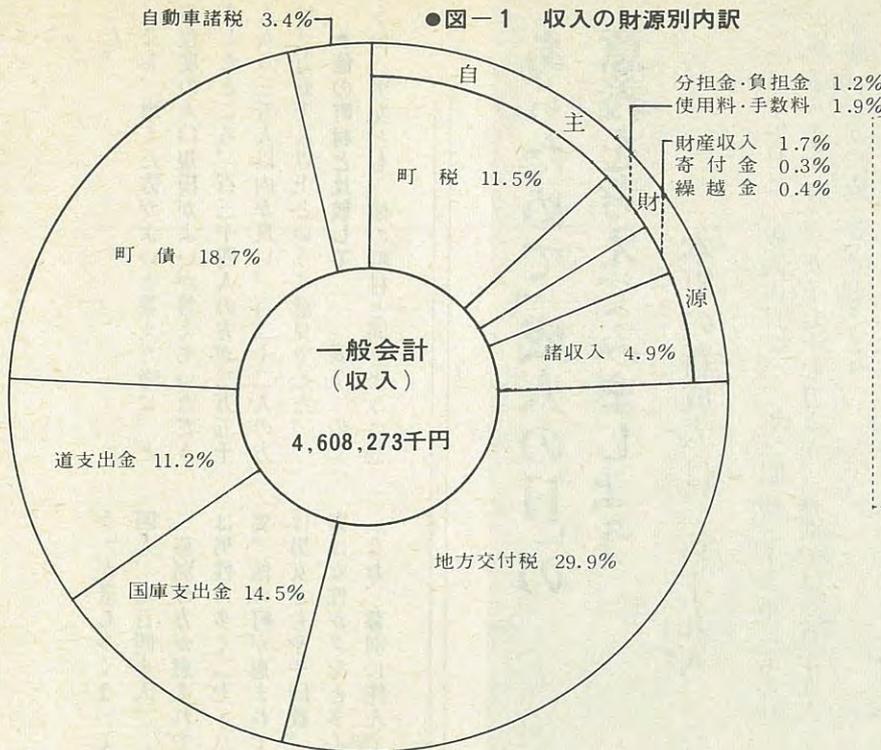
■好ましい人口規模 四百十五人（五〇・二％）が増えた方がよい、二百九十二人（三五・三％）は現在のまま、わからないと答えた方は九十三人（一一・二％）で



# 町づくりに使ったお金、

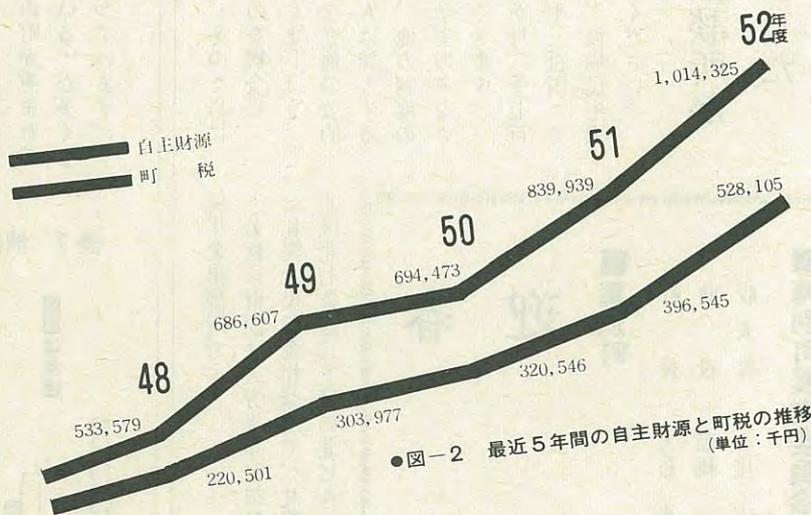
## 52年度の決算

昭和五十二年度に「町づくりに使ったお金」の決算がまとまりました。一般会計の決算額は収入率百四%、支出率は九九・五%となっています。以下は決算内容をお知らせします。



昭和五十二年年度の一般会計決算は収入四十六億八千二百七十三千円、支出四十五億六千四百三十二万九千九百円で差引四千三百九十四万四千円 of 剰余金を生じました。なお、五十三年度への繰越事業がありませんので、五十二年の実質収支額は四千三百九十四万四千円となります。

一方、国民健康保険、簡易水道、下水道の三特別会計の決算合計額は収入五億七千五百十三万一千円、支出は五億六千九百三十一万一千円でした。したがって、収支差引額は六百十万円となりました。一般会計と特別会計を合わせて、前年度と比べると収入で九億九千五百五十七万五千円、支出で九億九千八百一十一万二千円、それぞれ増えました。



自主財源は  
収入全体の二二%



一般会計の収入のうち、自主財源は一億四千三百三十一万七千円(二二%)ですが、自由に使える一般財源は一一・三%にとどまります。一般財源というのはいし道特定されない収入で、具体的には町税、地方譲与税、自動車取得税交付金、地方交付税、娯楽施設利用税、交通安全交付金などです。

収入全体では、前年度に比べ二二%伸びました。これは、町税、地方交付税、地方譲与税、国・道支出金などの増によるものです。

町債八億六千三百六十万円が一般会計に占める割合は一八・七%です(前年度一七・七%)。財政構造の健全性への影響を示すものに公債費比率があります。影響を与えない程度は一〇%が目安にされており、その比率が低いほどよいとされています。幕別町の場合は一一%です。

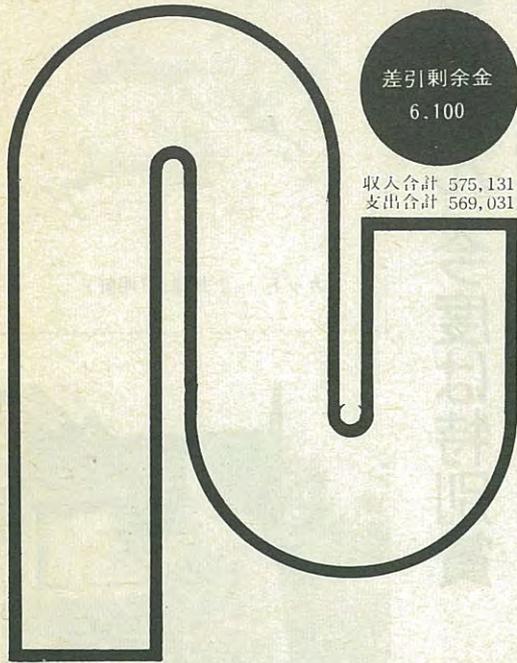
地方債の償還は  
支出全体の六%



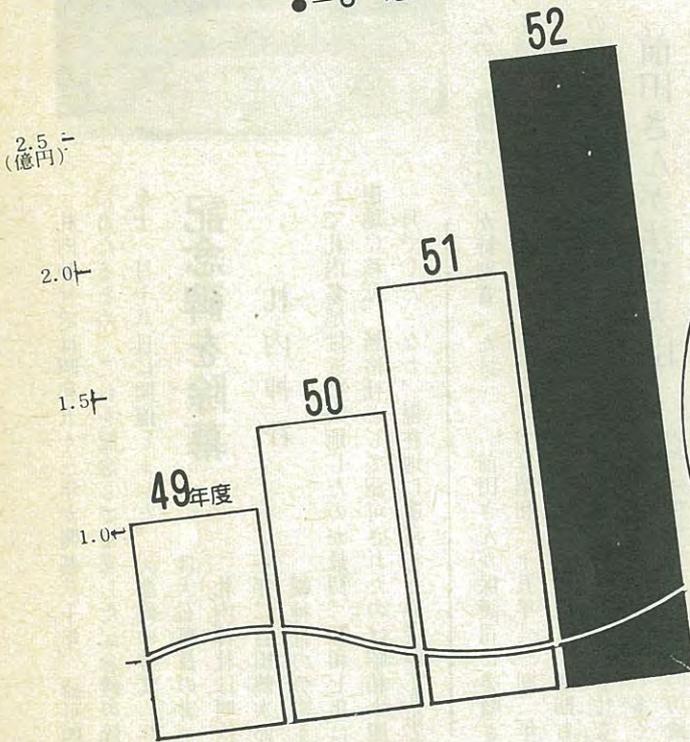
昭和五十二年年度の支出は図2・3をご覧ください。目的別にお金の使い道を見ると、土木費が二五・三%でトップ、続いて教育費が二〇・五%、以下農林業費の一五・七%などです。

また、お金の使い道を性質別に分けただのが図4です。大きく消費的経費と投資的経費とに区別できますが、経費

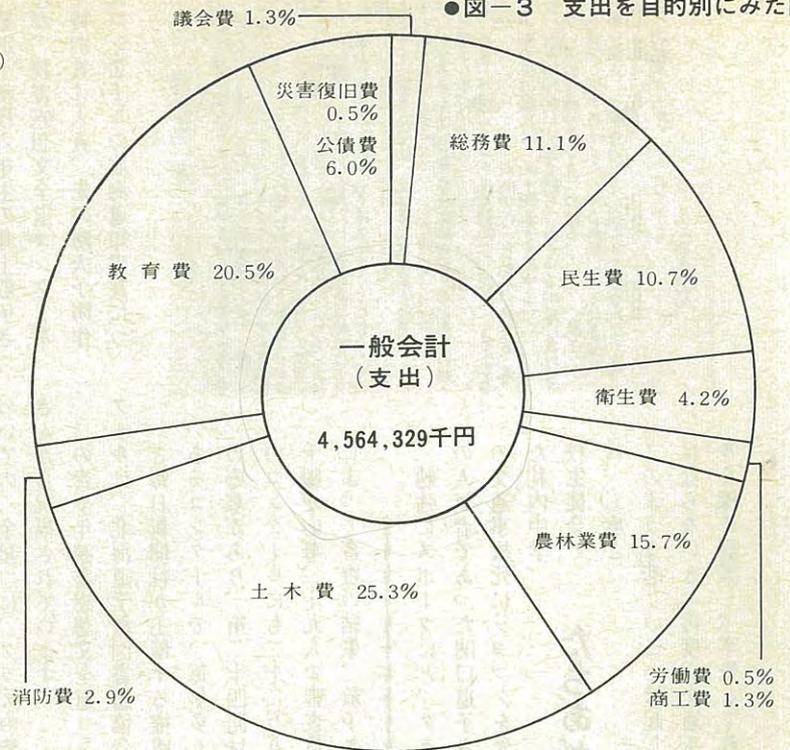
●図-5 特別会計の決算額——単位：千円  
(国民健康保険・簡易水道・下水道会計)



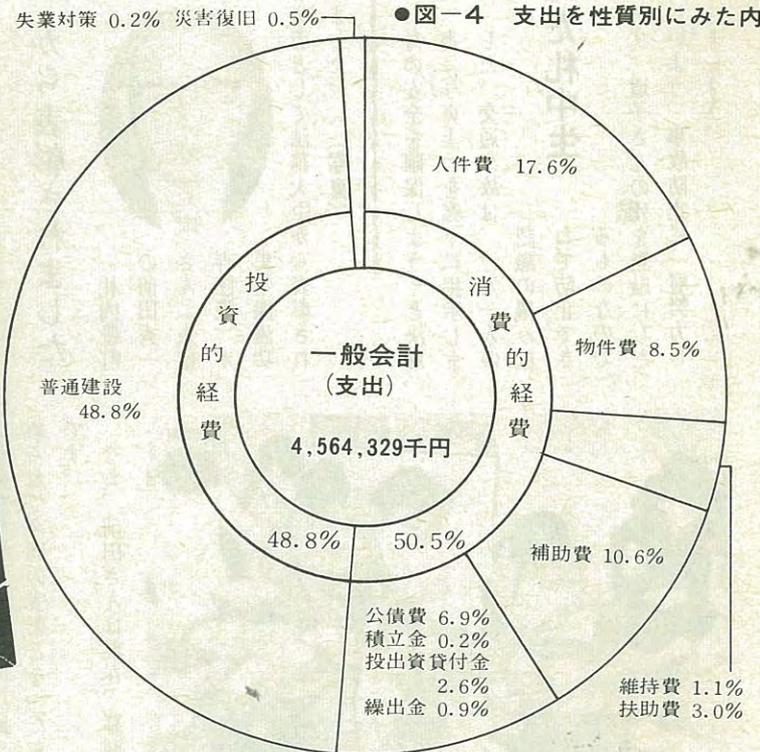
●-6 地方債の償還額



●図-3 支出を目的別にみた内訳



●図-4 支出を性質別にみた内訳



特別会計の決算は、収入合計が五億七千五百十三万一千円、支出合計は五億六千九百三十一万一千円です。

公共下水道特別会計は五十二年度から新設した特別会計です。

国民健康保険会計の収入の主なもの  
は国庫支出金が二億五千五百九十七万七千円、保険税が一億七千二百二十八万一千円です。

**特別会計は  
六百一十一万円の黒字**

昭和四十九年度二億四千四百八十万円(予算構成比八・九%) ●五十年  
度三億三千五百六十万円(同一〇・六  
%) ●五十一年度六億四千三百八十  
万円(同一七・三%) ●五十二年  
度八億六千三百三十万円(同一八・八%)  
償還額は図5をご覧ください。

の支出が経済的効果を基準とした場合  
その支出効果が短期間で終わるものを  
消費的経費といいます。支出効果が長  
期にわたって持続するものを投資的経  
費といい、行政水準の向上、経済的な  
影響からも、支出総額に占める投資的  
経費の割合が高いほど望ましいもので  
す。

限られた自主財源の中で住民福祉を  
最重要点とした施策を進めていく上で、  
国・道支出金はもちろんのこと地方債  
の占める役割はたいへん重要です。し  
かし、地方債は必ず将来の財政負担が  
伴いますから、無計画に借入れると  
財政硬直化の要因になってしまいます。  
最近の状況は次の通りです。



カット 土井博詞(明野)



札内神社では昭和五十三年が開基八十年、認可四十年にあたるため、これを記念して建立した記念碑の除幕式を十一月十八日に開催しました。記念碑の碑文(写真)

### 記念碑を除幕

#### 札内神社

一年に吉田鶴次郎が札幌神社の分霊を奉持して札内墓地付近に入地したのが最初。昭和七年には市街地に移転、無格社として認可されたのは昭和十四年十一月でした。なお、現在地に遷宮したのは四十九年九月。

### 中島前町長は国鉄 総裁から感謝状

前町長の中島国男さんに、国鉄総裁から感謝状が送られました。

中島前町長は、町長に当選以来当時の止若駅二線橋新設、幕別駅の新築、幕別駅前広場舗装などに積極的に協力、また、全国国鉄自動車協力会連合会副会長として国鉄自動車の健全運営に協力するなど、その功績は大きく、十月十四日の鉄道記念日に表彰されたものです。

なお、十一月三十日に釧路鉄道管理局長が札内睦町の自宅を訪れ伝達しましたが、国鉄総裁の感謝状は十勝管内ではじめて。

## 敬子さん、今度は特別賞

### 読書感想文全道コンクール

幕別小学校六年生の井上敬子さん、読書感想文全道コンクールで特別賞に入賞、先の防火予防作文コンクールの北海道知事賞につ

づいての「金星」に、クラスの皆さんから祝福されています。

この青少年読書感想文全道コンクールは、北海道学校図書館協会と毎日新聞社が主催する権威あるコンクールで、毎年多くの応募があり、第二十四回目のコンクールにも二十二万五千編が応募、十九人の審査員によって審査の結果、敬子さ

### 前田さんが法務大臣から表彰されました



札内豊町の前田秀一さん(永盛寺住職)が更生保護功勞者として法務大臣から表彰されました。(写真)

勉強にスポーツにと、クラスの人気者であった関口道子さんの交通事故死にショックを受けた札内中学校生徒会で

### たちあがった札中生

ねで防止できるものなのです。道子さんの死を無駄にしたいよう、事故防止に一層努力をしましょう。



### 消費者協会で料理講習会

町消費者協会では、年末・年始の食卓に、今までにない料理を盛りつけようと幕別駐在所の普及員さんを講師に依頼し12月7日に町民会館で料理講習会を開催しました。

この日習ったメニューは「くりきんとん」のほか「錦卵」、「三色あえもの」、「のしどり」、「豚肉の五色漬」の5品でした。

決意書  
今や北海道が交通事故天国という不名誉な状態の中に、去る十月廿日本校の一年生関口道子さんが、命を奪われてしまいました。道子さんの死は、全校生徒に大きなショックを与えたと同時にまた教訓を残してくれました。二度と起してはならない。そして、あつてはならないの丁す。我れ中生の一人一人が心を新たに、生命の尊厳をより破かなものにして、交通事故絶滅は、より、率先して我が身の安全を確保することに努力して、かなければならないと思ひます。  
そこで生徒会事務局は、全前君に次の事を決意していただきます。一 私達中学生は、日常、学校生活の中で常に先生の話を真剣に聞き、実行する。二 再度、交通ルールを深く認識し、絶対に守る。三 登下校の際には、必ず配章を着用する。四 自分の行動に責任を持ち、あらゆる困難に負けるものない強い精神力を身につける。以上、私達は、関口道子さんの死を無駄にすることなく、交通事故防止に一層努力して、楽しく幸福な人生を送っていくことを誓ひます。  
昭和五十三年 十一月二十日  
生徒会事務局

# 資源回収事例

(1)

十一月号広報まくべつでお知らせしましたように、相川東公区では廃バスを利用して公区集会場を―と廃品回収をはじめ、立派な集会場をつくりました(写真)現在、資源回収運動をすすめている公区は、未確認をふくめ約二十公区といわれ

ています。

そこで、現在計画の中または将来実施したいという公区の参考のために、各公区の「資源回収事例」を連載いたします。



生係に、ご連絡ください。

## 公区の親睦に役立つ

### ―泉町婦人会の場合

札内泉町公区(水野正盛公区長)では、婦人部活動の資金とするため、昭和五十二年五月から資源回収をはじめました。回収は三か月ごとにおこない、ゴミ収集所に各班の班長夫人が責任をもって集めることになっています。

この資源回収運動は婦人部の年間行事のひとつとしてはじめましたが、当初考えていたようにはゆきませんでした。婦人部長の早苗麗子さんは反省しています。泉町婦人部では、毎年一回、町内見学会をおこなっていますが、

五十三年度は、これを中止し、九月にはじめての野外レクリエーションを近くの公園で実施したところ、子供さんを含め約百人が参加ミニ運動会を開催するなど、公区

の親睦に大変役立ちました。この野外レクリエーションの費用は、廃品を売ったお金と、公区から婦人部に補助されたお金で、まかなったそうです。

なお、昭和五十三年は三回しか廃品を集めることが出来なかったのですが、それでも一万二千六百九十五円になりました。

## 地域子供会の活動費に

### ―新町公区の場合

新町公区(古酒昭治公区長)で資源回収をはじめたのは昭和五十一年の春からです。

資源回収をはじめた理由は、モノを大切に作る運動をすすめる、これによって得たお金を、地域子供会の活動費の一部にしようと思案したもので、他の公区と同様、空ビン、古雑誌、古新聞、金物雑品を回収しています。

回収日が決りますと、二、三日前に各家庭へ連絡。連絡を受けた各家庭では古雑誌、古新聞などを散らばらないようにしばっておきます。回収日の当日、子供育成会の役員さんが新田ベニヤのトラックで各家庭を巡回します。

新町公区では春秋二回の回収で約三万円になり育成会が主催するソフトボール大会、野球グラウンドでのキャンプ、新一年生と小学校卒業生の歓送迎会などの費用にあてていますが、子供たちにモノの大切なことを教育す

る一助にもなっています。

なお、古酒公区長は「回収品の種別の研究と、回収する回数を年三回から四回にすることによって更に効果があがるものと考えています」と語っていました。

資源の回収で得たお金で楽しいスイカ割り競技



▲泉町の野外レクリエーション風景

# 消防団で出初式

## 無火災の表彰も

町消防団恒例の出初式が次の日程で開催されます。

▽一月七日十一時

第二分団

▽一月八日十時

第三分団

▽一月八日十二時

第一分団

出初式の席上、次の方々が表彰されます。

〔知事表彰〕 団員・大橋久雄（第三分団）消防司令補・土田勝美（幕別消防団）消防司令補・湊種夫（幕別消防署）以上二十年勤続

団員・林田三男（第三分団）消防士長・矢野邦男（札内出張所）以上二十年勤続

〔消防協会十勝支部長表彰〕 団員・長谷川洋州（第一分団）野村武志（第一分団）山保直之（第二分団）早苗誠治（第二分団）逢坂敬三（第二分団）大野弘文（第二分団）香田徹雄（第二分団）中村正昭（第三分団）森原久雄（第三分団）渡

私たちの回りには新建材（合成樹脂系）をはじめ繊維やプラスチック製品など、いったん火災がおきると多量の有毒ガスや煙を出す危険なものがいっぱいあります。このようなガスや煙を吸いこむと呼吸困難や中毒をおこして、やがては死を招くことにもなります。

煙の恐ろしさをよく知っておくことも、火災から身を守るうえで大切なことの一つです。

### 煙の恐ろしさをご存知ですか

■窒息の危険 煙にふくまれるススを吸うと肺の細胞につまり窒息します。

■酸素欠乏 物が燃えるにしがって空気中の酸素は減っていきま。空气中には二一%の酸素が含まれていますが、これが一五%になると呼吸困難となり、体の自由が利かなくなりま。

### 篤志寄付者のお名前

〔無火災表彰〕 第三分団（十一月で二年十か月）

栗木幸夫（第二分団） 渡辺保嗣（第三分団） 藤岡学（第三分団） 村田三男（第三分団） 森原久男（第三分団） 以上百五十回精勤表彰

町へ：  
▽十勝道路株式会社（山口富吉代表取締役）から創立五周年を記念し地方自治行政振興に役立ててほしいと百万円  
消防団第一分団へ：  
▽額満清一さん（錦町）から分団業務に役立ててほしいと百万円  
町社会福祉協議会へ：  
▽小山松高さん（相川）から香典返しを廃止して三万円  
▽札内婦人会から不用品即売会益金の一部一万円  
▽安藤輝三さん（青葉町）から八千円  
▽笹島郁夫さん（錦町）から売上金の一部として二万七千二百六十七円  
▽匿名の方から千円  
▽小山松高さん（相川）から妻が生前お世話になりましたと二万円（相川南老友会へ指定寄付）  
▽西猿別青年会から一万円（西猿別老人クラブへ指定寄付）  
▽新和老人クラブへ指定寄付）  
▽片原節義さん（途別）から父が生前お世話になりましたと三万円（途別老人クラブへ指定寄付）

迎保嗣（第三分団） 中村栄光（第三分団）以上五年勤続  
班長・上田栄一（第一分団） 団員・田中和夫（第三分団）以上十五年勤続  
副団長・大久保正司、部長・折笠清（第一分団）以上二十五年勤続

〔組合長表彰〕 班長・永原茂（第三分団）以上三十年勤続  
団員・笹島宏元（第二分団）、団員・久保沼富一（第三分団）以上十年勤続  
団員・長谷川洋州（第一分団）野村武志（第一分団）山保直之（第二分団）逢坂敬三（第二分団）大野弘文（第二分団）早

部長・中条正一（第一分団）、団員・桑井宏有（第一分団）、野村武志（第一分団）有沢章（第一分団）大野弘文（第二分団）

### ゆずりまます

●セドリック・スパイクタイヤ四本、希望価格一万円  
札内眺町 阿蘇義治 電話（札内）三五二九番  
●Wベット、コーナー椅子五点セット Wベットは差しあげます。コーナー椅子五千円程度  
札内春日町 本房信夫 電話（札内）三五〇七番

譲ってほしい方は直接、話しあいください。またこの欄に掲載希望の方は毎月十日ころまでに住所氏名、電話番号、品名、希望価格を町民課広報聴係までご連絡ください。

### 納税証明書

#### の請求は早めに

指名願いや登録の更新、または入札参加指名願いなどのため、税務署に納税証明書を請求される方は、早めにお申し出ください。  
三月に入りますと確定申告と重なり、即日交付することが出来ない場合がありますので、二月中旬までにお願ひいたします。  
なお、請求の際に、印鑑と証明書一枚につき二百円の収入印紙、家族や従業員以外の方は「委任状」を、ご持参ください。